

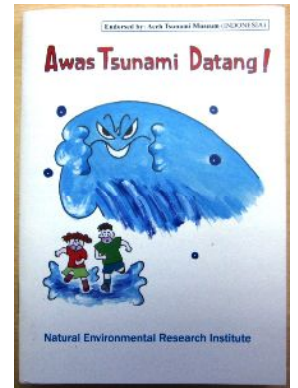
【インドネシアの子供のための地震津波パンフ配布活動】

＜津波博物館に津波絵本を 240 冊持って行って寄贈しました＞

私たちはインドネシア、スマトラ島の最北端にあるアチェに建設された国立津波博物館に津波絵本（右）の寄贈をしています。今年 1 月に 100 冊を贈りましたが、さらに追加がほしいということで、8 月 20 日から 25 日にバンドアチェを訪問し、博物館の館長 Zuhardi HATTA 氏（Rahmadhani さんの次の館長さん）に会い 240 冊を贈りました。



津波絵本を館長さんに贈る



今回持って行った絵本は 7 月 19 日に白鷺会の有志の方 6 名による手作業で 400 冊に飛び出す部分を取り付けられました。

また、以前配布していた津波パンフを見せたところこれもたくさんほしいとのことで、帰国後、新たに印刷することになりました。



津波絵本の説明をしています



館長さん（中央）と記念撮影

＜昨年寄贈した津波紙芝居が活用されていました＞

その後館内を 1 年半ぶりに見学しました。新しくなっている展示（ジオラマ、DVD など）もありましたが、昨年 3 月に私たちが持参して博物館で実演した津波の紙芝居は、その後実際に活用されている様子が写真で館内に展示されていて感激しました。

＜日本地学教育学会全国大会で発表しました＞



寄贈した津波紙芝居が実際に使われている様子の写真が館内に展示



8 月 16 日—20 に大阪で開催されたこの大会で昨年の博物館との連携について発表しました。

＜今後の活動＞

◎ 津波で親を失った子供を支援しているアチェの NGO と連携

この NGO の来年の活動として 2004 年の津波を起した地震の震源のすぐ横にある島の子供たちの支援を行うのでそのときに津波パンフを持って行きたいとの事で、1000 冊を 12 月までにパンフを作成することにしました。



NGO のオフィスでメンバーと記念写真

◎ 津波博物館にも津波パンフを新たに贈る。

今回の訪問で津波絵本以外に津波パンフも必要とのことで来年度に 1000 冊をまず作成して送付することになりました。このパンフにも「津波博物館推薦」の文字を入れることが許可されました。

◎ 火山防災パンフの作成

インドネシアは火山災害も多い国です。そのため新たに「子供のための火山防災パンフ」の作成を始めます。